

授業科目名	公衆衛生看護学方法論 (2300253)		
時間割名	公衆衛生看護学方法論 (44207)		
時間割担当	三浦康代 吉水清 井上葉子		
実施期	前期	単位数	2 選択
曜日・時限	木・4		

授業の目標・概要

地域の健康水準や住民の生活の質を高めることを目標とした地区看護活動を理解する。地域住民の健康意識や認識を高め、行動変容に導く主要な方法として、健康教育の理念と目的、その展開方法および基礎的实践能力を習得する。また地区看護活動を展開する上で必須となる地区組織活動を理解し、グループの持つ力を意識的に活用し、組織化させていく基礎的方法を学ぶ。対象グループが主体的に問題解決をしていくために、グループ自身の力量を形成する支援方法について、具体的事例から学びを深める。

学習の到達目標

1. 健康教育の目的及び展開方法を理解する。
2. 地区組織活動を理解し、実践できる基礎的な方法を学ぶ。
3. 演習を通して基本的な保健指導技術を習得する。

授業方法・形式

講義（一部演習）

授業計画

- 第1回 保健指導の展開について：健康相談、健康診査の目的・方法・機能
- 第2回 家庭訪問における保健指導
- 第3回 保健指導の実施：ロールプレイ
- 第4回 在宅看護におけるシステム
- 第5回 健康教育の定義・目的
- 第6回 健康教育の企画・実施・評価・フォロー
- 第7回 健康教育の技術
- 第8回 健康教育の実際1：健康教育の企画
- 第9回 健康教育の実際2：健康教育の指導案作成
- 第10回 健康教育の実際3：健康教育の指導案作成
- 第11回 地区組織活動の基本
- 第12回 地区組織活動の展開：地区組織活動の基本
- 第13回 地域ケアシステムの概念
- 第14回 地域ケアシステム：ネットワークシステム
- 第15回 災害の定義と災害における保健師の役割

成績評価の基準

定期試験40% 小テスト40% 健康教育演習の評価（グループ評価）20%

準備学習・復習及び授業時間外の課題

毎回授業の冒頭で小テストを行います。必ず前回学習した内容について復習しておくこと。

履修上のアドバイス及び留意点

生活習慣の改善等の行動変容や、地域で起こっている健康問題を解決するためにはどうすればよいのか、学生らしい発想を期待しています。

教材・教科書

『標準保健師講座2』 医学書院

参考書